

愛知スキー協通信

No.277

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会

2018年 3月 1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)



http://aichiskykyou.yukigesho.com/

編集クラブ：S.C.直滑降

第55回愛知スポーツ祭典・第20回東海ブロック

スノーフェスティバル報告

文責 愛知スキー協 スノーボード部長 寺田 康平

2日間にわたって「平湯温泉スキー場」にて行われた「第20回東海ブロック スノーフェスティバル」の様子を報告します。

主催：日本スポーツ連盟 全国勤労者スキー議会 東海ブロックスキー協議会

協賛：HEAD Japan

後援：愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会

岐阜県・岐阜県教育委員会

日程：2018年1月26日(金)夜～28日(日)

場所：平湯温泉スキー場 源泉かけ流しの宿中村館

コース内容：スキー教室 スノーボード教室 スノーシューで歩く 山スキー ポール練習
ポール教室 ネイチャースキー おもしろ競技会 大回転競技大会

参加総数：147名 おもしろ競技会エントリー26名 大回転競技大会エントリー99名

指導員体制：各種教室合計14名

体制：スノーフェスティバルでは、ポールセット、スタート・ゴールの設営などの準備から旗門員やタイム計測などの大会運営まで全て出場選手で役割を割り振って行います。なので、逆に言えば大会役員もレースにエントリーしています。このようにみんなで準備してみんなで楽しむのがスノーフェスティバルです。

レポートその1：おもしろ競技会報告

競技責任者 寺田 康男（スキー協東海ブロック長）・要員 10名

日程 27日(土)15:00～16:00 ポール練習バーンの下緩斜面

目的 スノースポーツの新種目の開発と雪上での交流イベント、そして翌日の競技会で使用する計測器のテストと取り扱いの技術伝達を行うためです。



競技種目内容説明 (要項配布ビラより)

- ・スタート位置につきます。赤ポール2本の間をスタートします。計測バーをきってスタートします。
- ・青ポールの外を通り、ポールの先に捕らえられているプリッツを救出してください。
- ・次に赤ポールの外を通り、その先に捕らえられているポーッキーを救出してください。
- ・次に青ポールの外を通ります。
- ・次に赤ポールの外を通り、その先に捕らえられているチョコを救出してください
- ・ゴールは、青ポール2本の間を通ります。
- ・スタートしてゴールするまでのタイムを計測します。

品物を救出できなかった場合は一個につき3秒のペナルティーをタイムに加算します。インスペクション(コース下見)はありません。コース取りは自由です。成績発表は、夜の宴会にて行います。

2018年おもしろ競技会成績表（お菓子を救い出せ！スラローム）

成績	競技者名	滑走タイム	ペナルティー	トータル	滑走順	備考
1	よしざわ はるか	14秒84			16	優勝
2	かとう しん	16秒08			5	第2位
3	さわだ あいが	16秒16	3秒	19秒16	20	第3位
26	かとう りゅういち	73秒59			19	特別感動賞

今回の見所

今回の旗門は、競技用のポールの上からネトロンポール（ゴルフのクラブの保護用ネット）をかぶせ、その網の中に入れてあるお菓子を取り出しながらゴールのタイムを競うレースです。要項には、スキー履いてとかどうやって取り出すかは書いてありません。そこで今回の出場者の約半数がスキーを履きませんでした。上記成績表では、1位のよしざわさんがその作戦でした。これを考え出した、私の考えでは、救い出せの定義も不明確でありそこをつき、ペナルティー覚悟で、手で取り出しにはいかず、強くポールにアタックして、自然に飛び出せば救い出せたと抗議してスキーで滑るのが一番賢い方法だと密かに思っていました。残念ながら目前のお菓子に全員、目がくらみ、手を出したのが残念だと思いました。（競技責任者 談）

追伸

宴会の時の表彰に間違いがありましたことをお詫びします。

レポートその2：大回転競技は28日に行いました。



前半は、幼児から、学生、女子、男子50代等50名のエントリーで、2回滑走します。その後コース整備と役割、係の交替をします。後半は、大混戦の60代男子、20代男子等の49名が2回滑走し、同じくベストのタイムで順位を競います。全員で片付けを行い。表彰式は、年少の幼児から行われ、おそらく初体験の賞状の授与をみんなでほほえましく見守りながらスキー協らしく楽しい雰囲気で行進していきましました。そして、大会出場者が毎年楽しみにしているのが賞品です。数は全員分用意されており、各部門1位の選手から順に選んでいきます。今年はHEADのリュックやカバン、ブーツケースなどからキャップなど様々な景品があり、参加者は目を光らせながら選んでいました。

ワンポイントコーナー

今月号より、用語解説やスキー技術などのワンポイントアドバイスを不定期で行っていきます。今回は、アルペン競技用語解説です。

アルペン種目だけでなく他の競技にも通じることがあると思い、用語を紹介していきます。

渡部暁斗さんは、ラージヒルでドイツの戦略以上にワックスミスで金メダルを逃してしまいましたね。アルペン以上にノル（ノルディク）の距離ではワックスに左右されると言われています。

DS（ドントスタート）何らかの理由でスタートしなかった

DF（ドントフィニッシュ）途中転倒や失敗でゴールしなかった

（失敗したらゴールしてはいけないルールが多い）

DQ（Disqualify）途中旗門を通らないこと（不通過）に気づかずゴールし失格になったこと

リザルト 大会の記録（最近はすぐHPにアップされていることが多いです）

お詫び

今回のスキー協通信は編集担当者（永田）のパソコンの故障により、時間がなく、A4版2ページとなりました。大変申し訳ありません。